

### 一般社団法人日本光学会第2回委員総会

日 時：2017年3月18日(土) 15:00~15:30

場 所：東京農工大学 BASE 本館1階講義室1

出席者：黒田会長，ほか理事・運営委員21名

議 事：

#### 1. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ，承認された。

##### 1-1. 第2期事業報告

- ・第2期(2015年9月1日~2016年12月31日まで)の事業について報告された。

##### 1-2. 第2期決算報告

- ・第2期(2015年9月1日~2016年12月31日まで)の決算について報告された。

##### 1-3. 監査報告

- ・事業報告および決算関係書類について監査した結果，適正であるとの報告がなされた。

#### 2. 第2号議案

- ・役員改選について2人の新任理事，11人の留任理事，2人の新任監事が紹介され，承認された。

#### 3. 報告事項

下記について担当理事から報告が行われた。

##### 3-1. 第3期事業計画について

- ・第3期の事業計画について報告された。

##### 3-2. 第3期予算案について

- ・第3期の予算案について報告された。

### 第290回「光学」編集委員会

2017年3月24日(金)，静岡大学東京事務所の会議室にて，2017年度新任編集委員にも出席いただき，新旧委員合同の編集委員会が開催されました。通常と同様に，2号分の企画決定(第46巻第10号，第11号)，第2次構想案(第46巻第12号，第47巻第1号)，第1次構想案(第47巻第2号，第3号)の審議が行われました。1年前の第45巻第5号の同記事をご覧ください。扱っている号が変わっています。この1年をかけて，第1次構想から発刊までの時間が3か月短くなりました。次に，第46巻第6号の特集「2016年日本の光学研究」について，進捗状況の報告と今後の流れについて議論しました。これまでの網羅的な紹介を改め，各分野から30程度の興味深い研究の紹介となりました。研究の選定から原稿依頼，原稿の確保と校閲を短

い期間で行わなくてはいけない大変さもありますが，魅力的な誌面をお届けできそうです。次に，通常の企画記事に加えて，記事の企画から掲載までをより短期間にした高速企画(正式名：光学ハイライト)について議論しました。また，4月からの光学誌の改変に合わせた，光学投稿規定の改訂についても議論しました。最後に，光科学及び光技術調査委員会(関東，関西)，論文投稿・審査状況，各号の進捗状況，ウェブニュースについての報告がなされました。2015年1月から2年をかけて検討を進めてきた光学誌改革の成果がやっと現れます。編集委員会の後，黒田会長のご出席のもと，立食形式により新任委員の歓迎と退任委員の慰労の会が開催され，委員同士が議論し合えるよい時間を共有しました。

### 平成29年度研究助成・研究表彰の募集

#### 1. 研究に対する助成

対象課題：①光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について，②細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究

助成金総額：約5,000万円

#### 2. 研究に対する表彰

対象者：光科学に関する基礎的な研究で，内容が独創的でありかつ過去2年以内に発表された研究論文，講演，報告等の内容により対象者を選定。35歳以下の方を対象。

表彰金総額：100万円

3. 応募締切：2017年7月14日(金) 必着

4. 連絡先：光科学技術研究振興財団(〒430-0926 静岡県浜松市中区砂山町325-6 日本生命浜松駅前ビル4階)

電話 053-454-0598 Fax 053-454-1929

E-mail info@refost-cs.or.jp

URL <http://www.refost-hq.jp>

### The Twelfth Japan-Finland Joint Symposium on Optics in Engineering (OIE'17) (第12回日本-フィンランド光工学合同シンポジウム)

本シンポジウムは，1995年のラッペンラッタ工科大学(フィンランド)での開催を皮切りとして，フィンランドと日本で交互に2年ごとに開催される光科学・フォトンクス関連の国際会議です。今回は12回目の会議を日本側で組織し，メイン会場を新潟県佐渡市として開催する予定です。9月12日~14日に学術集会，15日にエクスカージョ

ンの日程となっています。本シンポジウムは、光学やフォトリソグラフィの理論と実験、材料、デバイス、手法に関する最新の研究成果を発表する場を提供するとともに、日本とフィンランドの光学分野の研究者が集い、互いの成果について議論することを通じて、両国の研究者の信頼を築き、光学分野の進展に寄与することを目的としています。多くの論文投稿、参加をお待ちしております。

期 日：2017年9月12日(火)～9月15日(金)

場 所：あいぼーと佐渡(新潟県佐渡市両津夷384-11)

主 催：日本光学会

共 催：宇都宮大学オプティクス教育研究センター

投稿方法：2ページPDF アブストラクトを投稿

投稿締切：2017年5月31日(水)

投稿先：oie17\_office@eng.niigata-u.ac.jp

参加登録締切：2017年6月30日(金)

参加費：一般80,000円(参加登録費25,000円のほか、全日程の宿泊、懇親会費用などを含む)、学生50,000円(参加登録費10,000円のほか、全日程の宿泊、懇親会費用などを含む)

問合せ先：新潟大学工学部電気電子工学科 鈴木孝昌

電話/Fax 025-262-7215

E-mail takamasa@eng.niigata-u.ac.jp

URL <http://optlab.eng.niigata-u.ac.jp/OIE17/>

#### **第144回微小光学研究会「無線給電に光の出番はあるか」**

通信の無線化に続き、残された有線接続である給電の無線化は、社会を大きく変革するポテンシャルがある。従来の無線給電の電磁誘導やマイクロ波の方式に、光を用いた無線給電も加わることで、無線給電がさらに広がると期待される。今回の研究会では、これまでに研究開発の進む無線給電技術の経緯・動向を学ぶとともに、光の出番を模索する。

日 時：2017年6月13日(火) 10:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス蔵前会館くらまえホール(〒152-0033 東京都目黒区大岡山2丁目12-1, 東急大井町線/目黒線大岡山駅下車, 徒歩1分)

主 催：応用物理学会微小光学研究会

協 賛：光無線給電検討会, 学振175委員会

問合せ先：宮本智之(東京工業大学未来産業技術研究所)

E-mail tmiyamot@pi.titech.ac.jp

URL <http://www.comemoc.com/>

#### **JOEM「波動光学の基礎」技術講座**

日 時：2017年7月4日(火), 5日(水) 10:00～17:00

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会, 日本光学工業協会, 光産業技術振興協会ほか

参加費：協賛62,640円(テキスト・消費税含む)

定 員：24名

申込期限：2017年6月27日(火)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL <http://www.joem.or.jp>

#### **JOEM「レンズ設計法」技術講座**

日 時：2017年7月12日(水), 13日(木) 10:00～16:20

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会, 日本光学工業協会, 光産業技術振興協会

参加費：協賛62,640円(テキスト・消費税含む)

定 員：24名

申込期限：2017年7月5日(水)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL <http://www.joem.or.jp>

#### **JOEM「LEDと半導体レーザーの基礎と応用」技術講座**

日 時：2017年7月14日(金) 13:00～17:00

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会, 日本光学工業協会, 光産業技術産業協会ほか

参加費：協賛28,080円(テキスト・消費税含む)

定 員：24名

申込期限：2017年7月7日(金)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒400-8511 山梨県甲府市宮前町 7-32 山梨大学クリスタル科学研究センター

東海林 篤 電話 055-220-8348 E-mail ashohji@yamanashi.ac.jp

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

## 一般社団法人日本光学会 賛助会員

2017年5月1日現在の本学会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

(株)アルゴ

ウシオ電機(株)

オプトシリウス(株)

(株)オプトロニクス社

オリンパス(株)

キヤノン(株)

(株)清原光学

(株)光学技研

興和(株)

(株)五藤光学研究所

コニカミノルタ(株)

(株)シグマ

シチズン時計(株)

(株)昭和オプトロニクス

ソーラボジヤパン(株)

(株)タムロン

中央精機(株)

テルモ(株)

(株)東芝

(株)東精エンジニアリング

(株)トプコン

(株)ナックイメーヂテクノロジー

(株)ニコン

(株)ニデック

日本板硝子(株)

(一社)日本オプトメカトロニクス協会

Phase One Japan(株)

富士フイルム(株)

古野電気(株)

(株)溝尻光学工業所

三菱ケミカル(株)

ユニオプト(株)

(株)リコー

ルーマスソフト(株)

以上 会員数 34 社, 49 口 (五十音順)

## 「応用物理」第 86 巻第 5 号 (2017 年 5 月号) 予定目次

### 今月のトピックス

第 56 期 (2017 年) 応用物理学会 役員紹介 (後編)

速報 2017 年春季学術講演会

### 解説

原子層物質における光科学 ..... 松田一成

### 最近の展望

ホモエピ GaN 上ノーマリオフ型 MOSFET の開発 ..... 上野勝典

### 研究紹介

トポロジカル電子物質の開拓 ..... 笹川崇男

III-V 族量子ドットデバイスの欠陥評価—宇宙用多接合太陽

電池の耐放射線強化のために ..... 佐藤真一郎

高耐圧 SiC パワーデバイス実現に資する衝突イオン係数の

精密評価 ..... 木本恒暢, 丹羽弘樹, 須田 淳

短パルスレーザー誘起フォトメカニカル波を用いた分子

送達システム ..... 佐藤俊一

レーザーイオン化を用いた投影型イメージング質量分析

..... 間 久直

### 基礎講座

電磁界シミュレーション(実用編)—光導波路デバイスを例に

..... 柴山 純

### ホッとひといき

今からできる化学実験室の安全対策 ..... 松永猛裕

### InsideOut

若者を引きつける街—ボストン ..... 荒井慧悟

### Science As Art

CuSn ナノツリー ..... 金子直人, 和田卓十, 新宮原正三